令和4年度(令和3年度対象) 教育委員会点検·評価

東温市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各 教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行 い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果していくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の点検及び評価を行い、報告するものです。

〇地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に 委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等 に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、 その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければなら ない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する 者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. はじ	めに	
2. 点検	· 評	西の対象
		西の方法
4. 点検	: 評	西結果の構成
■点検・詰	评価紀	果
(保育幼科		
		子育て環境の充実
重点施策	2	就学前教育・保育の充実
/ 224 1 1 1/ L=	/- =m\	
(学校教育 季上##		社会のおよりで取り如われるの世界
重点施策		社会総がかりで取り組む教育の推進
重点施策		確かな学力を育てる教育の推進
重点施策		せかな字刀を育てる教育の推進せかな心、健やかな体を育てる教育の推進ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
重点施策重点施策		サ別支援教育の充実
重点施策 重点施策		教職員の資質・能力の向上
主从心水	0	秋城員Vノ貞貞・ 祀ノIVハ山上
(学校給1	食セン	· / 9—)
	-	- グラック
(学校教育	育課)	
重点施策	10	いじめ・不登校等への組織的対応
重点施策	11	地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進
		図書館・歴史民俗資料館)
重点施策		学び合い高め合う生涯学習の推進
重点施策		市民の全てが実践する人権教育の推進
重点施策		読書活動の推進と図書館利用の促進
重点施策		地域コミュニティの醸成
重点施策		地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用
重点施策	1/	スポーツ活動の充実・促進
■ 数容系	:음 스 :	舌動 報告
■ 教育安 1 教育会		
		: では、
2 秋 _月 3 3 そのf	_	
0 (V)	ニマノノロ	12/)

1. はじめに

教育委員会では、令和3年度東温市教育基本方針において基本理念を『心豊かに学びあう文化創造のまち「東温」を目指して、保育・幼児教育と学校教育の連携・推進をはじめ、青少年の健全育成、生涯学習の振興、体育・スポーツ活動の充実や地域文化活動の保存・発展を図ることにより、人権意識に根ざした健全で主体的な市民の育成に努める。』と定め、重点目標として、以下の17項目を掲げて取り組みました。

- (1) 子育て環境の充実
- (2) 就学前教育・保育の充実
- (3) 社会総がかりで取り組む教育の推進
- (4) 安全・安心な教育環境の整備
- (5) 確かな学力を育てる教育の推進
- (6) 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- (7) 特別支援教育の充実
- (8) 教職員の資質・能力の向上
- (9) 学校給食の充実と食育の推進
- (10) いじめ・不登校等への組織的対応
- (11) 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進
- (12) 学び合い高め合う生涯学習の推進
- (13) 市民の全てが実践する人権教育の推進
- (14) 読書活動の推進と図書館利用の促進
- (15) 地域コミュニティの醸成
- (16) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用
- (17) スポーツ活動の充実・促進

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、上記重点目標を実現するために、令和3年度に取り組んだ重点施 策のうち、主な事業について評価を行いました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、事業の実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価 を行いました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験等を有する方からご意見、 ご助言をいただきました。ご意見等をいただいた方々は次のとおりです。

公立小学校 P T A 会長 石山 公也 元公立小学校校長 冨永 俊樹

4. 点検・評価結果の構成

(1) 対象事業

重点施策に基づき実施した主な事業について、事業名と決算額を掲載しています。

(2) 事業の実施状況

点検・評価対象事業の実施状況(概要)を記載しています。

(3)評価

事業を評価基準に基づき点数評価を行い、自己評価を行っています。

(4) 評価基準

5:予想を大きく上回る成果が得られた。

4:想定以上に成果が得られた。

3:想定どおりの成果が得られた。

2:成果は得られたが、改善の必要がある。

1:成果は得られず、見直しの必要がある。

(5) 学識経験者意見

教育に関し学識経験等を有する方からいただいたご意見、ご助言を掲載しています。

点検・評価結果

	T			1	
対象事業	事業の実	施状況		評価	自己評価
(1) 放課後児童クラ	市内全ての小学校	区に放設	後児童		北吉井放課後児童ク
ブ事業の推進	クラブを設置できて	おり、市	民サービ	3	ラブについては、北吉
(決算額:98,441千円)	スの平準化が図られ	にいます	•		井はなみずき組を新設
	北吉井放課後児童	重クラブに	ついて		したことで、待機児童
	は、令和3年4月1	日から北	吉井はな		が発生することなく希
	みずき組を開設し、:	北吉井校	区の児童		望者全員の受入れがで
	受け入れを行ってい	ゝます。			きました。
	支援員については	は、市主催	の研修会		なお、北吉井はなみ
	(2回)への参加、	発達等の	専門家に		ずき組は、利用児童数
	よる巡回指導事業の	実施によ	り質の		が多い状況であったた
	確保に努めています	•			め、保護者会等と協議
					を行い、令和4年度か
	[登録児童数]	(単位	ī:人)		ら北吉井あおい組との
	クラブ名	和2镀	知3頓		クラス分け調整を行い
	北吉井はなみずき組	-	87		ました。
	北吉井あおい組	162	81		新型コロナウイル感
	南吉井すみれ組	100	88		染症対策として、検温
	南吉井たんぽぽ組	112	110		サーモカメラや加湿器等を配備しました。ま
	拝志ひまわりクラブ 31 31				た、活動においては外
	川上くすのき児童クラブ	88	78		遊びの種類を増やすな
	上林ささゆりクラブ	12	14		ど安心して利用できる
	東谷さくら児童クラブ	10	6		環境作りに努めまし
	西谷みどり児童クラブ	11	10		<i>t</i> =。
	合計 526 505				
	※長期のみ登録児童含む。				

〔支援員数〕	数〕 (単位:人)	
クラブ名	和2镀	知3镀
北吉井はなみずき組	-	7
北吉井あおい組	7	5
南吉井すみれ組	12	13
南吉井たんぽぽ組	12	12
拝志ひまわりクラブ	6	7
川上くすのき児童クラブ	10	10
上林ささゆりクラブ	3	3
東谷さくら児童クラブ	4	4
西谷みどり児童クラブ	4	4
合 計	58	65

(2) 婚活支援事業の 推進

① 婚活相談会

(決算額: 102 千円)

的に、個別の相談会を1月30日に開催しました。1件30分程度の相談で7 人の利用がありました。

独身者やその親等の不安解消を目

えひめ結婚支援センターの職員や ボランティアスタッフが最新の婚活 事情や心構えなどをアドバイスしま した。

内訳…男性4名、女性2名、親等1 名

② 松山圏域3市3町事業

(決算額: 316 千円)

(出会いイベントの開催)

3市3町で出会いイベントを各市町が1回開催しますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東温市は9月11日にオンラインでのイベント開催となりました。男性8名、女性7名の参加で、Youtubeを活用した東温市のクイズやトーク、マッチングを行い、3組のカップルが成立しました。

各種事業で独身者の 3 出会いの機会の場が創 出できました。

> 3市3町の取組では オンラインでの開催と なりましたが、市内の 魅力発信の要素も取り 入れ、充実した内容で 実施できました。

縁結びサポート事業 も会場が休館となり、 実施日数は減少しまし たが、稼働率は90%で、 非常に多くの利用があ りました。

今後も結婚を希望する独身者へのサポートを継続し、市の「縁結びサポーター」を活用するなど成婚につながる事業展開が求められています。

(親婚活の開催)

親同士による婚活交流会を松山市で1回開催し、50人が参加しました。 その後の子どもの引合せは13組で、 内交際数は2組となっています。(東 温市民3名参加)

(WEBサイトの共同運営)

えひめ結婚支援センターホームページ内の3市3町の婚活支援サイトを共同で運営し、独身者にイベント情報や交流事業を発信しました。

③ 縁結びサポート 事業

(決算額: 283 千円)

県のお見合い事業である「愛結び」のサテライト会場を中央公民館において、金曜日の夜(毎月2回)と日曜日の日中(毎月1回)に開設しました。 独身者の会員登録手続きやタブレットによるお相手の閲覧、交際フォローができました。

(事業実績)

(ナルノ(元)	
開催日数	26 日
時間	金曜日 17 時~20 時
P寸	日曜日12時~17時
延利用人数	82 人
お見合い組数	12 組
交 際 数	6 組

【学識経験者意見】

北吉井放課後児童クラブについて、はなみずき組を新設し、その後さらに、あおい組とのクラス分け調整を実施したことは、就労家庭等の保護者を支援する上で大変有効な施策であったと言えます。今後も、待機児童が発生することなく希望者全員の受入れができ、一人一人にとってより広い活動スペースが保てるよう、環境の整備を希望します。

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度のオゾン除菌脱臭器に加え、検温サーモカメラや加湿器等を配備したことは、児童の健康面を十全に配慮するという点で大きな意味を持ちます。また、外遊びの種類を増やすなど、安心して利用できる環境づくりに努めていることも、適切な指導の工夫がなされていると考えます。

放課後児童クラブの支援員が、前年度より7名増となったことは、喜ばしいことです。しか し、支援員と活動場所の数は、受入れ児童数に対して、まだ少ないと思われます。上記の外遊

び等における安全確保、新型コロナウイルス感染拡大防止などの観点から、「人」と「場所」、 そして「時間」を考えた効果的な施策が望まれます。	

臿	占	施策	2
#	ᇒ	ᄱᇄᅑ	_

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1)教育·保育必要量確	保育ニーズの多様化による近年の		北吉井地区の児童
保のための体制整備	保育需要増加に対して、既存施設「北	4	数増加と保育需要の
(認定こども園運営事業)	吉井幼稚園」を有効活用し、設備及び		高まりに対応するた
(決算額: 4,399千円)	保育体制の整備を行い、公立認定こど		め、新たに保育認定
	も園への移行を行いました。		(定員 60 名) の利用
	①施設名称		枠を確保し、受け皿
	東温市立認定こども園北吉井幼稚園		を充実させたこと
	②施設類型		で、待機児童は発生
	幼稚園型認定こども園		しておりません。ま
	③利用定員		た、感染症対策等に
	150人(1号:90人、2号:60人)		おいても、同地区内
	④受入年齢		の保育施設である双
	3歳児、4歳児、5歳児		葉保育所の利用人数
	(※年度途中で満3歳に達する者は含まない。)		減少に貢献し、スペ
	⑤事業内容		一スの確保が図られ
	・学校教育法に規定する幼児に対す		ました。
	る教育		
	・児童福祉法に規定する乳幼児に対		
	する保育		
	・子育て支援事業(子育て相談業務、		
	一時預かり事業など)		
	⑥幼稚園との違い		
	・ 開園日及び開園時間の拡大 (保育		
	所部分は平日 19 時まで、土曜保		
	育あり)		
	・長期休業中の預かり保育利用園児		
	(幼稚園分)に対する給食提供あ		
	Ŋ		
	⑦保育料等		
	・幼児教育、保育の無償化により保		
	育料は無料		
	・延長保育料、預かり保育料、給食		
	費、教材費、入園用品代等につい		
	ては保護者の実費負担		

(2)施設型給付・地 域型保育給付の適正 実施

(決算額:315,069千円)

【子どものための教育・保育給付費】 子ども・子育て支援法に基づき、認 定こども園、新制度移行幼稚園、保育 所等を利用する子どもの教育・保育に 要する費用を子どもの保護者の法定 代理として施設への給付を行いまし た。

①対象施設

私立保育所 2 園 公立保育所等(市外) 6 園 小規模保育事業所等 9 園 認定こども園 16 園 私立幼稚園 3 園

2給付額

公定価格 - 利用者負担額

【保育士等処遇改善臨時特例事業補 助】

保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業に基づき、保育士等の処遇改善のため、民間の市内認可保育施設に対して、令和4年2月から保育士等の収入を3%程度引き上げるための補助を行いました。

①対象施設

認定こども園 1 園 小規模保育事業所 5 園

- ②処遇改善額
 - 1人あたり収入の3%(月額9,000円程度)
- ③施設への補助額 補助基準額(国基準) × R3 年齢別 平均利用児童数×事業実施月数

【小規模保育事業者公募】

低年齢児を中心とした保育需要の 増加に対して、令和2年度から低年齢 児の受け皿として、新たな小規模保育 教育・保育給付については、係る費用を施設へ適正に給付することにより、子育て世帯への支援が図られました。

保育士等処遇改善 臨時特例事業につい ては、市内全ての私立 認可保育施設に対し、 保育士等の収入引き 上げのための補助金 を交付することによ り、保育現場の処遇改 善を図ることができ ました。

小規模保育事業者 公募については、年度 途中からの受入れで はありましたが、定員 19名の利用枠確保に 繋がり、北吉井地区の 保育需要への対策を 講じることができま した。 事業者の公募を実施し、令和3年10 月1日に北吉井地区に認可保育施設 「スポキッズなかよし保育園」が開設 され、保育体制の整備を行いまた。

①タイムスケジュール

R2.10 月 公募開始

R3.01 月 選考委員会

R3.09月 確認(認可)

R3.10月 開設、給付開始

②利用定員

19名(0歳:5名 1~2歳:14名)

【学識経験者意見】

北吉井幼稚園から公立認定こども園への移行を行ったことで、待機幼児が発生することなく 希望者全員を受入れできたことは、大きな成果です。また、利用定員の増、開園日及び開園時 間の拡大、保育料無料等の実施は、保護者にとっては、特に有り難く感じていることでしょう。 保育士等の処遇改善を図ったことは、大変望ましいことです。やはり、従事する教職員の勤 務環境の向上を更に希望します。充実した保育を保障していくためには、教職員が余裕を持っ

て従事できるようにしていかねばなりません。そのためには、人員確保と処遇改善が大切です。 「人」が増えれば、「時間」は生まれ、組織の「資質・能力の向上」へとつながっていきます。

対象事業	事業	の実施状況	評価	自己評価
(1)学校評価の効果	学校教育法第	342条に基づき、学校		学校評価を確実に行
的な活用と公表	の教育活動や	学校運営について学校	3	うことで、各幼稚園、
(決算額: 千円)	関係者が評価を	行い、必要な支援、改		小・中学校として、現
	善等を図り、教	育水準を高める必要が		在、重点的に取り組む
	あるため、全ての幼稚園、小・中学校			べきことは何かという
	において学校評価を実施しました。			課題を把握し、学校全
	また、学校評	価報告会を小・中学校		体として教育活動の充
	は2月21日に	開催し、各学校の課題		実・改善に取り組み、
	と成果について	て意見交換を行うとと		学校運営についても組
	もに、評価内容	、評価方法等について		織的、継続的な改善を
	検討を行いまし	た。		図ることができまし
	なお、評価結	果は各学校のホームペ		た。なお、新型コロナ
	ージで公表して	います。		ウイルス感染症の影響
				により、学校関係者評
	〔学校評価実施	[状況]		価委員会の開催回数を
	学校等名	実 施 日		やむを得ず、当初予定
				の2回から1回とした
	北吉井小学校	令和 3 年 7 月 28 日		学校もありました。
	 	令和 4 年 2 月 7 日		また、学校運営協議
	南吉井小学校	令和4年2月2日		会の中に学校関係者評
		^ 		価委員会を位置付けて
	拝志小学校 	令和 4 年 1 月 17 日		いる学校もあり、学校
	L ++ 小岩井太	令和3年6月9日		運営の状況や児童生徒
	上林小学校 	令和 4 年 2 月 10 日		等の様子について保護
	山上小岩井	令和 3 年 6 月 24 日		者、地域の代表者等と
	川上小学校 	令和4年2月3日		の十分な意見交換を行
	東谷小学校	令和 4 年 1 月 28 日		い、「地域に開かれた
	宋古小子仪	774 4 4 1 7 20 4		学校」「地域と共にあ
		令和3年6月17日		る学校」を目指して努
	西谷小学校	令和3年10月5日		カしています。
		令和 3 年 12 月 6 日		今後も、評価の結果
		令和 3 年 7 月 16 日		を保護者や地域住民に
		令和 4 年 1 月 30 日		ホームページや学校便
	川内中学校	令和3年7月2日		りで広くかつ丁寧に周
				知し、コミュニティ・

	令和 3 年 12 月 10 日
老怎么 你可	令和 3 年 6 月 24 日
重信幼稚園	令和 4 年 2 月 16 日
北吉井幼稚園	令和 3 年 6 月 23 日
北口井列作園	令和 4 年 2 月 10 日
川上幼稚園	令和 3 年 6 月 22 日
川上均州田丞	令和 4 年 2 月 16 日
東谷幼稚園	令和 3 年 6 月 25 日
米台列作图	令和 4 年 2 月 22 日
西谷幼稚園	令和 3 年 6 月 28 日
1917年图 1	令和 4 年 2 月 22 日

スクール(学校運営協議会)の取組を通して、保護者、地域の代表者等の学校運営への参画を促進していくことが必要であると考えます。

【学識経験者意見】

東温市の全ての学校でコミュニティ・スクールが立ち上がり、「地域に開かれた学校」「地域と共にある学校」を共通の目的として努力していることをすばらしく思います。また、市として、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組を通して、保護者、地域の代表者等の学校運営への参画を促進する姿勢も大いに評価できます。

学校は、常に難局を迎えやすい現況です。適切に対応し、善処していくためには、できるだけ多くの人で課題を共有し、共に解決していく取組を強化することが不可欠です。私が校長であったとき、時の学校運営協議会委員長をはじめとして、「学校の応援団」という位置付けを明確にしていただきました。つまり、学校運営協議会が共に責任を負うことを、校内外にアピールすることで、学校経営が随分やりやすくなったのです。市全ての学校運営協議会が、真にこのような組織となることを切望します。このことが「地域と共にある学校」を体現する早道であろうと考えます。各校のHPを拝見すると、学校運営協議会における話合いの充実に努めていることが理解できました。「学校の応援団」たる理想像に近づいていると感じています。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 老朽施設改修(大	学校等施設長寿命化個別計画に基づ		当初予定どおり改
規模改修) 規模改修) 事業の推	き、老朽施設の改築工事及び大規模改	3	築工事及び大規模改
進	修工事を行いました。		修工事が完了しまし
	〔令和3年度に実施した事業〕		た。
うち繰越明許費	• 北吉井小学校給食配膳室等改築工		今後も、児童生徒の
17, 275 千円]	事(児童数増加に伴う教室増築工		安全・安心な教育環境
	事と併せて実施)		を確保するため、計画
	・北吉井小学校北校舎西棟附属トイ		的に老朽施設の長寿
	レ大規模改修工事(繰越明許)		命化改修等を進めま
	• 重信中学校部室等改築工事		す。
(2) 通学路における	交通安全、防犯及び防災等の観点か		通学路の安全対策
安全教育の推進と	ら、小・中学校の通学路において安全	3	において、学校、警察
環境整備	点検を実施し、安全対策が必要な箇所		及び道路管理者等と
(決算額: 千円)	については、転落防止柵の設置、減速		連携を図ることで、安
	を促す路面標示や横断歩道の修復など		全・安心な登下校の環
	の対応を、関係機関と連携して行いま		境を整備することが
	した。		できました。
(3) 教職員の防災士	市内小中学校の防災力の向上を図る		防災士としての知
資格取得及び活用	ため、県主催の防災士養成講座を活用	3	識及び技能を活用し
(決算額: 40千円)	し、5名の教職員が防災士資格を取得		た防災教育を実施す
	しました。		るとともに、災害時に
			おいて円滑に学校運
			営ができる体制を強
			化するなど、学校にお
			ける防災力の向上を
			図ることができまし
			た。

児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するために、老朽施設の改築及び大規模改修工事がなされ、完了したことは、実に喜ばしいことです。長寿命化改修は、全てが大規模であり、多額な予算確保が難しいところでしょうが、「子どもの命を守る」という大前提の下、今後も計画的に着実に進めていただきたいと思います。

通学路の安全対策は、関係機関との連携の下、環境整備が適切に進められており、安心できます。さらに、保護者、地域の方々の見守り体制の一層の充実と、その方々からの情報収集に努めたいものです。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 全国学力・学習	全国学力・学習状況調査は小学校6		学力向上推進主任を
状況調査の実施と	年生及び中学校3年生を対象に実施	3	中心に、各学校の学力
有効活用	しました。東温市小中学校の児童生徒		向上推進計画を全国学
(決算額: 一千円)	の学力の現状を分析・把握し、校長会		力・学習状況調査、愛
	で周知するとともに、市のホームペー		媛県学力診断調査、チ
	ジに公開しました。愛媛県学力診断調		ャレンジテスト、標準
	査は、愛媛県が独自開発したえひめⅠ		学力検査NRT等の結
	CT学習支援システム(EILS)を		果をもとに、見直しを
	活用し1人 1 台端末を用いて実施し		行い、各校の課題を基
	ました。また、チャレンジテスト、標		に具体的な方策を考え
	準学力検査NRT等の結果をもとに、		実践しました。
	学力向上推進委員会で今後の学力向		
	上に向けた取組について協議を行い、		
	市独自の「家庭学習の手引き」を発行		
	するなど、確かな学力の定着に努めま		
	した。		
(2) 小学校外国語	小学校 3・4 年生の外国語活動及び		外国語活動支援員及
科、外国語活動の	小学校5.6年生の外国語科において、	4	び外国語指導助手を配
指導充実	市内全小学校3・4年生及び5年生は日		置することにより、教
(決算額: 6,846千円)	本人外国語活動支援員を3名、6年生		員の補助や指導力の向
	は外国語指導助手(ALT)2名を配		上を図りました。また、
	置しました。		外国語の言語活動を通
	外国語活動の授業を学級担任とと		じて児童が外国語に慣
	もに各クラス年間3・4年生は35時間、		れ親しむことができ、
	5・6 年生は 70 時間行いました。		また、外国語を自ら聞
			き取り、話すというコ
			ミュニケーション力を
			養うことができまし
			た。

(3) G I G A スクー ル構想に伴う積極 的な I C T 機器の 活用

(決算額: 746 千円)

GIGAスクール構想により導入 した1人1台端末及び校内通信ネットワークを運用するとともに、院内学 級用にモバイル通信環境を整備しま した。

また、1人1台端末を「安心・安全・ 快適」に活用するため、児童生徒向け のルール作りなどを行ったほか、教職 員への研修を実施しました。 GIGAスクール構想により導入した1人1台端末の活用により、日常的にICT機器に触れる機会を作ることで、児童生徒の情報活用能力の育成につながっています。

4

今後、GIGAスクール構想を更に発展させるため、周辺機器等の導入を進めるとともに、操作研修を行い、教職員のICT活用指導力の向上に努めます。

【学識経験者意見】

GIGAスクール構想により、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICT環境(1人1台端末、校内通信ネットワーク等)が、順調に整備できています。児童生徒向けのルール作りなど、情報セキュリティ面にも力を入れていることも評価できます。今後も、教職員のICT活用指導力向上のための研修内容の充実と、ICT指導員の更なる配置を望みます。

児童生徒のコミュニケーション力を一層向上させるために、外国語活動支援員及び外国語指導助手の引き続きの適正配置と、その指導力の向上を望みます。それらにより学級担任等の教材研究の時間が確保され、指導の充実が期待できます。

対象事業		事業の実施状況	評価	自己評価	
(1) 坊っちゃん劇場	坊っちゃ	ん劇場の俳優が小・中草		坊っちゃん劇場	
アウトリーチ事業	向き、学習	発表会の練習指導や演技	3	との連携により、プ	
(決算額: 408 千円)	行うなど、	各学校のニーズに応じた	と事業が		口の俳優を小中学
	展開されま	₹した。しかし、新型コロ	コナウイ		校へ講師として派
	ルス感染拡	太大防止により、南吉井の	小学校•		遣し、芸術文化など
	拝志小学校	は、中止しました。			に触れる機会の創
			回数		出によって、子ども
	学校名	指導内容	(年間)		たちの感性や情操
	北吉井小	ダンスクラブの指導	10		を育むことができ
	上林小	演技指導	6		ました。
	川上小	ワークショップ	6		特に、中学校での
	東谷小	学習発表会劇指導	3		演劇部員への演技
	西谷小	発表会演技指導	5		指導は、人権講座で
	重信中	演劇部部員演技指導	7		の「人権劇」や文化
	川内中	人権劇台本作り、演技指導	3		祭での発表におい
					て取り入れられ、毎
					回好評を得ており、
					今後の活動意欲の
					高まりにもつなが
(O) #44 も 7 尚はぶ	±+		+ B A #		っています。
(2) 特色ある学校づ		中学校において、地元位		3	各学校が地域を
くり事業	-	導による体験活動や地元企業での職場体			学習の場として、地はの恣語な話品は
(決算額:1,099 千円)		域の特性を活かした魅力			域の資源を活用し、
		と教育を実施しました。	0		地域の人材と連携しなることで、児童生
					することで、児童王 徒にとっては新し
	学校名	主な活動内容			い経験となり、関心
		障害のある人との交流を通			を持つ契機につな
	北吉井小	│ 共に助け合いながら生活 │ く気持ちを育てる	してい		がっています。
	南吉井小	環境問題について調べ、関	心をも		10.7 CO.43°
	つことで環境の大切さを字ぶ				
	押志小 地域の高齢者に昔の遊びを教わっ て伝承交流を行う				
		地元の農家の方に指導を受			
	上林小	│ 作について学習し、田植え │ り・餅つき等を通じて、交			
		めらいと寺を通して、文	.//L C /不		

	川上小	戦争と平和について学習し、平和 を願い、折鶴を折る		
	東谷小	学校を花でいっぱいにする 職場体験でお世話になった施設に 花を贈る		
	西谷小	国際理解教育の一環として、ALTの 母国であるドイツの料理などを作 る		
	重信中	東温市やその周辺の事業所の 方々から話を聞き、職業について の知識を広げ、働くことの大切さ を学ぶ		
	川内中	人権講座、環境・防災講座、国際 理解講座の中から自分たちのテ ーマを決めて活動を行う		
(3) 緑の少年隊事業	上林小学	学校と西谷小学校の緑の少年隊		両地域の特性で
の推進	が、緑化活	動や奉仕活動に取り組み、活動	4	ある豊かな自然を
(決算額: 80 千円)	を通して緑	め大切さを学ぶとともに、ボラ		生かし、様々な体験
	ンテイア精	神の向上に努めました。		活動により、自然環
				境の保護・保全に必
	〔上林ささ	ゆり緑の少年隊]		要な知識取得に効
	隊員数	17名 (3~6年生)		果のある事業展開
	主な活動	j		ができています。
	· 地域の	公園等のボランティア清掃		清掃活動等にお
	• 環境ホ	ペスターの製作・貼り替え		いても、学校・保護
	・サツマ	イモ栽培など		者・地域が一体とな
	〔西谷みと	りの少年隊〕		り、ボランティア活
	隊員数	24名 (4~6年生)		動によって、ふるさ
	主な活動	j		とへの愛着と豊か
	• 清掃活	動		な感受性を育むこ
	・ 花の-	-人一鉢栽培活動		とができました。
	田植え	.、稲刈り体験		
	・サツマ	イモ栽培、竹炭焼き など		

(4) 東温市水泳記録 会、陸上記録会の 開催

(決算額:687千円)

体育・スポーツの振興と児童の体力向上 を図るため、陸上記録会を実施し、大会参 加に係る交通費の補助を行いました。今年 度も水泳記録会は、新型コロナウイルス感 染拡大防止対策により中止としました。

[市陸上記録会]

実施日 令和3年10月7日(木) 場 所 ニンジニアスタジ アム 参加者 児童 156人

[県陸上記録会]

実施日 令和3年11月15日(月) 場 所 ニンジニアスタジ・アム 参加者 児童 30人 陸上記録会の実施は、記録に挑戦する場を設けることで、児童の競技に取り組む意欲や技能・体力の向上に役立った。

3

また、学校間では、スポーツを通して児童の交流にもつながり、今後も継続していきたいと考えます。

【学識経験者意見】

坊っちゃん劇場の観劇及びアウトリーチ事業、特色ある学校づくり事業は、東温市の地域の 特性を存分に生かした、他に誇り得る事業です。その全てが、児童生徒の豊かな感性、社会性、 そして人間性を培うためには、必要不可欠なものであり、今後も継続していってほしいと願い ます。

児童の運動技能及び体力、意欲の向上を図るために、水泳記録会、陸上記録会は目標となる 貴重な機会です。感染防止対策を講じながらの開催は、容易ではありませんが、是非、継続し てほしいと願います。

计 名声类	東巻の字抜件沿	=亚/표	白コ転体
対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 学校生活支援員	学校生活や学習面で配慮を要する	4	各校の実情に応じ
の適正な配置	児童生徒の支援を行うために、38人	4	て、学校生活支援員の
(決算額: 85,445 千円)	の学校生活支援員を配置しました。		適正な配置を行いまし
	[配置状況] 配置人数		た。
	学校名 令和2年度 令和3年度		児童生徒が充実した
	北吉井小学校 7人 8人		学校生活を送ることが
	南吉井小学校 8人 8人		できるよう、引き続き 特別支援教育・個別生
	拝志小学校 3人 3人		活支援・少人数指導の
	上林小学校 1人 1人		石文援・少人数指導の 充実を図ります。
	川上小学校 6人 6人		元夫を凶りまり。
	東谷小学校 1人 1人 1人		
	■ <u>国任力学校</u> 3人 2人 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	川内中学校 4人 4人		
	計 38人 38人		
	<u> </u>		
(2) 特別支援教育研	保育所(園)、幼稚園、小・中学校		特別支援教育研修
修会・講演会の開催	の教職員に加え、子育て支援・特別支	3	会・講演会では、教職
(決算額: 70 千円)	援教育関係者を対象とした研修会や		員等の質向上を図るた
	講演会を開催しました。		め、支援方法に関する
	〔開催実績〕		研修会を実施すること
	研修会·講演会 実施回数 参加人数		で、幼児児童生徒一人
	子育て支援研修会 1回 43人		ひとりに応じた、きめ
	講演会 2回 84人		細やかな支援につなが
	生活支援員研修会 1回 52人		りました。
			新型コロナウイルス
	計 4回 179人		感染症拡大防止のた
			め、例年よりも実施回
			数、参加人数ともに減
			少しています。そのた
			め、今後は、オンライ
			ンによる参加も検討し
			ています。

(3) 巡回相談・教育 相談事業の充実

(決算額: 1,043千円)

巡回相談員が保育所(園)、幼稚園、 小・中学校を訪問し、望ましい指導方 法を教職員等と一緒に考えるなど、支 援体制の整備及び充実を図りました。 「巡回相談実施状況〕

学校等種別	実施回数	相談人数			
保育所	25 回	100人			
幼稚園	20 回	79 人			
小学校	17 回	27 人			
中学校	4 回	4人			
計	66 回	210 人			

[教育相談実施状況]

	実施日	相談人数
第1回	7月28、29、30日	26 人
第2回	10月27,28,29日	12 人
臨時他	6月17日他	10 人
	計	48 人

> 教育相談は、子ども 教育相談は、子ども がより安心ような を生活が送れる切ことが できましたの 大ちが送れ適うことができました。 教育相談は、子ども ができました。 を生活が送れる切ことの はいましたの はい学でもないできました。

> 児童生徒の実態はますます多様化していることから、今後においても適切な教育相談の体制づくりに努めていきたいと考えます。

【学識経験者意見】

学校生活支援員の配置の更なる拡充を望みます。配慮を要する児童生徒は年々増加しており、その保護者の教育的ニーズも多様化しています。一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、学校は支援体制の確立・充実が強く求められます。一層の人員確保をお願いします。同時に、支援員各自の資質・能力の向上のために、研修の充実を望みます。

対象事業	-	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 校務支援システ	校務支援	システム及びグループウ		校務支援システムの
ム、グループウェ	ェアを円滑	に運用することにより、教	3	運用により、成績情報の
アの活用	職員の業務	負担軽減を図りました。		管理をはじめ様々な業
(決算額: 14,552 千円)	また、セ	キュリティ強化機器等の導		務において教職員の負
	入により、化	固人情報保護の強化を図り		担軽減と業務量の削減
	ました。			につながっています。
	項目	内容		また、グループウェ
	校務支援	児童生徒名簿情報、出欠席		アの運用についても、
	システム	 システム 情報、成績情報等を電子化		学校間及び学校と教育
	グループ・行事予定、掲示板、メッセ			委員会間の情報交換が
	ウェア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			容易になり、教師の負
		グループウェア		担軽減を図ることがで
	セキュリ	パスワード及び手のひら		きました。
	ティ強化	認証による二要素認証、情		これらのことが、教
	 機器	報の暗号化等		職員の働き方改革につ
		1		ながっているものと考
				えます。

愛媛県で「教員のキャリアステージにおける指標」が平成30年2月に策定されています。ここには、「愛媛県の教員のキャリアステージ」及び「愛媛県の教員に求められる資質・能力」が明確に示されており、東温市においては、これに基づいた研修及び教育実践の更なる充実が求められるところです。校長及び教育行政サイドとしては、教職員が、「人間力」「信頼構築力」「組織力」「実践的指導力」の四つの観点と、18のキーワードを常に意識しながら、指導の充実に努められるよう導いていくことが大切です。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 特色ある給食の	・「ふれあいスクールランチコンテス		ふれあいスクールラ
提供と食育の推進	ト'21 IN 東温」(第4回目)を開催	3	ンチコンテストは、4
(決算額: 80 千円)	しました。8組の応募があり、4組が		回目の開催となり、子
	調理審査に参加しました。コンテスト		どもたちの食への関心
	入賞メニュー(4品目)は栄養教諭が		を高めることに寄与で
	学校給食用にアレンジし、2学期以降		きました。
	の給食に取り入れました。		郷土料理や行事食、
	・地場産物を活用したメニューや成長		世界の料理を献立に取
	期の子どもたちに必要な栄養をとる		り入れることで、多様
	ための新メニューの開発を行ったり、		な食文化を伝えること
	全国各地の郷土料理や、行事食のほ		ができました。
	か、世界の料理や、愛媛 FC、FC レデ		愛媛FCとのコラボ
	ィースとのコラボメニューを取り入		メニューを実施するこ
	れたりするなど、学校給食の充実を図		とで、子どもたちが食
	りました。		と健康について考える
	・年11回発行の給食だよりで、市内		きっかけとすることが
	生産者の紹介や農作物の生長の様子		できました。
	を掲載するなど、地産地消の推進に取		また、J-VER 売却益
	り組みました。		を活用し、東温市産紅
	・給食放送等では、行事食の意義、地		ほっぺを給食に提供
	産地消の推進、市内農産物を紹介した		しました。
	り、愛媛FCコラボメニュ―の日には、		今後も地域・家庭・
	選手からのメッセージ DVD 映像を配		学校・行政等と連携し、
	信したりしました。		給食の食事内容の充実
	・食を選択できる力を身に付けること		と食育の推進を図って
	を目的に、7月、11月にはセレクト		いくことが重要です。
	給食を実施しました。		
	・3月には小学校6年生、中学校3		
	年生から思い出に残る献立を提供す		
	る「リクエスト給食」を実施しました。		

r			,
	・東温市環 📾 のまちづくりによる		
	J-VER 売却益を活用し、東温市産紅ほ		
	っぺを子どもたちに給食で提供しま		
	した。		
(2) 地域に根ざした	・市役所ロビーにおいて約1カ月間、		新型コロナウイルス
学校給食の推進	給食センターの取組などを市民に紹	3	感染症予防のため、
(決算額: 7千円)	介するロビ一展を開催しました。		様々な事業が規模縮小
	・給食で使用する野菜の栽培、収穫体		となりましたが、継続
	験は新型コロナ感染症に配慮しつつ、		できた取組もあり、ア
	実施しました。		フターコロナに向けて
	新型コロナウイルス禍のため、施設		着実に事業を推進して
	見学については、限定的に実施しまし		参りたいと考えていま
	t		す。
	〔学校給食センター施設見学〕		市役所で開催したロ
	北吉井小学校3年生:97人		ビー展については、掲
	川上小学校2年生:61人		示物だけではなく、給
	〔青パパイヤ栽培体験〕		食ができるまでの様子
	東谷幼稚園・重信幼稚園		や様々な取組の映像も
	西谷幼稚園・南吉井小学校		同時に放映するなど広
	重信中学校		く市民に対し、食育や
	〔ケール収穫体験〕		地産地消の大切さや学
	南吉井小学校:14人		校給食の役割を伝える
	川上幼稚園: 21人		ことができました。
	重信中学校:17人		今後も新しい生活様
			式の考え方を取り入れ
			つつ、食育の推進と、
			地域との連携を進める
			ことが必要です。
(3) 地元企業と連携	・さくら市場給食部会との連携によ		さくら市場給食部会
した地産地消の推進	り、給食への地場産物活用を積極的に	4	員は高齢化が進み、会
(決算額: 一千円)	行うとともに、東温市産食材(ブロッ		員数の減少が懸念され
	コリー、にんじん、さといも、かぼち		ますが、近年若い農業
	ゃ、さつまいも、ビーツ等)を冷凍加		者の参画も増え、出荷
	工や高温高圧加工することで、通年で		品目、量ともに増えつ
	使用可能な東温市産食材の使用割合		つあります。
	を増やしました。		また、加工業者との
	・年3回(各1週間)の地産地消推進		連携により、市産農産

の期間には、市内農産物を積極活用 し、地場産物活用率は平成22年度以 降県下1位を維持しています。

	令和2年度	令和3年度
県内産	98. 7%	100.0%
(東温市産)	(48. 5%)	(52. 2%)

〔地場産物活用状況〕

(令和3年度県内産使用率の県平均45.3%)

物の活用を更に進めることができました。

令和3年度より新たに市内福祉施設と連携し、障がい者の方々が育てた野菜を仕入れていますが、今後も地産地消を更に推進するような取組を進める必要があります。

【学識経験者意見】

- (1)食育に関して、コンテストや新メニューの開発など、給食内容に関する内容や、給食放送やセレクト給食、リクエスト給食など、興味を持ってもらうための内容等、いろいろな観点での取組をされており、かなり充実したものになっていると感じました。
- (2) 施設見学などのように感染対策に配慮しつつ規模を縮小して実施する形、ロビー展のようにコロナ渦の中でも実施できる新しい形ということで、試行錯誤されている様子が伺えました。これを、新しい取組を考えるチャンスと捉え、前向きに取り組んで頂ければと思います。
- (3) 地場産物活用率の県下1位は素晴らしいと思います。また、自己評価にあります高齢化の問題から、若い方の参画や障がい者の方が育てた野菜の仕入れなど、課題解決に向けた取組がされていることが分かりました。

全体を通して、試行錯誤されながらも、いろいろな取組をされ、結果を残されていると感じました。継続は力なりと言います。今後においても、更なる向上を期待します。

ᆂ	_	1 <i>L</i>	40
曲	ф	施策	1()

対象事業	事	業の実施状	況	評価	自己評価
(1) 東温市いじめ防	「東温市い	じめ防止等の	のための基本		いじめを絶対に「許
止基本方針の具体	方針」に基っ	づき、関係者が	が連携を図り	3	さない」「見逃さない」
性のある見直し	ながら、いじ	めの未然防」	上、早期発見、		という共通認識のも
(決算額: — 千円)	早期解決の	ための取組を	総合的かつ		と、定期的なアンケー
	効果的に推過	進しました。			トにより得た情報を全
	また、基本	方針に関し	て国、県や他		教職員で共有しなが
	市町から情報	服収集し、見ī	直しを行いま		ら、児童生徒の様子を
	した。				細やかに観察し、全体
	〔不登校・し	いじめ認知の	推移〕		や個に対する指導を継
	- H	不登校児	いじめ		続してきました。
	年 度	童生徒数	認知件数		いじめ防止基本方針
	平成 29 年度	31 人	88 件		の見直しについては、
	平成 30 年度	28 人	84 件		国・県の改定点を踏ま
	令和元年度	32 人	66 件		え、学校の実情に合わ
	令和2年度	42 人	52 件		せて、実効性のある「い
	令和3年度	60 人	40 件		じめ防止基本方針」と
	※不登校児童	生徒数につい	ては、年間30		なるよう、改定しまし
	日以上の欠席	者			<i>t</i> =.
(2) ハートなんでも		 、規模校)、J	 内中学校に		いじめや不登校など
相談員の配置及び	それぞれ 1 :	名及び重信中	中学校に2名	3	の悩みを抱えていた
活用	を配置し、し	いじめ・不登村	交などの悩み		り、教室に行きづらい
(決算額: 5,439千円)	を抱える児童	童生徒の支持	爰に取り組み		傾向にあったりする児
	ました。小規	模な小学校へ	への対応とし		童生徒への対応とし
	て、スクール	ノ・ソーシ ャ	ル・ワーカー		て、児童生徒、保護者
	が各学校を記	が各学校を訪問し相談を実施しまし			及び教職員へのきめ細
	た。				かい相談活動により状
	〔相談件数〕				況改善につなげること
	学校名	令和2年度	令和3年度		ができました。
	北吉井小学校	交 996 件	1,810件		今後も関係機関等と
	南吉井小学校	交 562 件	565 件		連携し、教室に行きづ
	川上小学校	90件	268 件		らい傾向にある児童生
	重信中学校	759 件	1, 252 件		徒の悩みや相談に丁寧
	川内中学校	693 件	1,575件		に応じることで、心に

		_ == === == == == ==	中リエハ トルロノナ
			寄り添い、心に届く支
			援となるよう努めてい
			きます。
(3) QU 調査の実施と	よりよい学校生活と友達づくりの		悩みや不安等を抱え
効果的な活用	ためのアンケート (Hyper-QU) 、たの	3	不登校となる児童生徒
(決算額: 1,406千円)	しい学校生活を送るためのアンケー		数は増加傾向にあるこ
	ト(Q-U)を市内全ての小・中学校で		とから、QU 調査等を有
	実施し、分析された調査結果をもとに		効に活用することで、
	児童生徒一人ひとりについて理解す		早期発見、未然防止に
	 るとともに学級集団の状態を把握し、		つなげ、学級担任等が
	校内研修会等で教職員が情報共有、共		その結果から児童生徒
	通理解に努め、温かく好ましい学級集		への対応に繋げる取組
	団の形成と人間関係づくりに取り組		みを行うことができま
	みました。		した。
	074 0120		した。 なお、令和4年度か
			らは、児童生徒の1人
			1台端末を活用し学校
			生活アンケートを行う
			ことで、調査・分析・
			活用における迅速性の
			向上及びコスト削減に
			寄与します。
(4) 適応指導教室の	心理的要因等により登校できない		児童生徒にとって、
設置及び活用	状態又は不登校傾向にある児童生徒	3	適応指導教室が学校と
(決算額: 6,565 千円)	に対し、支援を行いました。児童生徒		家庭以外の新しい居場
	や保護者からの相談について、各関係		所となり、情緒の安定
	機関との連携・調整を行いながら対応		や集団生活への適応に
	をしました。		向けた支援を行うこと
	〔利用状況〕		ができました。
	小学生 中学生		引き続き、関係機関
	相談 8人 8人		と連携を取りながら、
	体験 4人 9人		児童生徒が安心して過
	入室 5人 4人		ごすことができるよ
	合計 17人 21人		う、心理面のサポート

〔相談実績〕		実現されるよう支援に
小学生	20 件	努めます。
中学生	26 件	
合 計	46 件	
		

「東温市いじめ防止等の基本方針」が、令和4年3月、学校の実情に合った、実効性のある ものに改定されました。いじめを絶対に「許さない」「見逃さない」という共通認識がより高 まり、組織としての共通実践ができるよう、各校への適切な働き掛けをお願いします。

各校の相談件数が、前年度より実に増えており、ハートなんでも相談員やスクール・ソーシャル・ワーカー等による相談活動が積極的に展開されていることがよく分かります。また、いじめ認知件数は年々減っていますが、不登校児童生徒数は 60 人に増加しています。いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒、教室に行きづらい傾向にある児童生徒一人一人に寄り添い、悩みや相談に丁寧に応じるために、ハートなんでも相談員等の増員配置を望みます。

よりよい学校生活と友達づくりためのアンケートについて、1人1台端末を活用することにより、調査・分析・活用における迅速性の向上及び業務改善が期待できます。

対象事業	事業の実施状況				自己評価
(1) 補導活動の充実	市が委嘱し	した 63 名のは		天候不良や新型コロ	
と有害環境対策の	中学校の生徒	走指導主事等	で構成する	3	ナウイルス感染防止の
推進	補導委員に。	より、年間を追	通して街頭補		ため、補導回数、活動
(決算額: 550千円)	導活動や不見	良図書回収な	どの環境浄		人数が制限されました
	化活動を実施	色しました。			が、青色防犯パトロー
	また、各校	区の少年健全	全育成推進協		ルカーによる見せる補
	議会等関係回	団体と連携を	図り、情報交		導活動を中心に不良行
	換を行いまし	ノた。		為や犯罪の抑止に努め	
	〔補導活動の	D状況〕			ました。
		令和2年度	令和3年度		引き続き関係機関と
	年間補導回数	22 回	23 回		連携しながら、意見交
	延べ活動人数	214 人	178 人		換や情報共有を行い、
	不良図書等回収	369 冊	487 冊		非行防止等に取り組む
	内訳(不良図書)	106 冊	201 冊		ことで、青少年の健全
	(一般図書)	159 冊	227 冊		育成活動を推進してい
	(ビデオ・D V D)	104本	59 本		きます。
	(その他)	0 部	0 部		
 (2) 教育相談活動の	中央公民館	官、川内公民館	官にそれぞれ		 近年、相談件数が減
充実	1名の教育村	目談員を配置	3	少傾向にありますが、	
(決算額: 2,793千円)	非行等に関する相談を受け、内容に応				適応指導教室をはじめ
	じて関係機関	員と連携を図	り、的確な対		関係機関や他の相談窓
	応に努めまし	いた。			口と連携するなど、引
	〔相談件数〕				き続き教育相談室の周
		令和2年度	令和3年度		知と共に児童生徒等が
	来所相談	5件	3件		相談しやすい環境づく
	電話相談	1件	2件		りに取り組みます。
	訪問相談	0件	0件		
	メール相談	0件	0件		
	計	6 件	5件		

- (1) 青色防犯パトロールでは、見せる防犯ということで、ある程度の効果は出ていると思います。しかし、補導委員の負担なども配慮しながら、毎年同じ事の繰り返しではなく、何か工夫が欲しいと感じました。実際に補導を実施した場所・時間、非行の目撃情報などを収集することによる見回り方法の効率化・改善など、更によくするための取組が欲しいと感じました。
- (2) 相談件数の減少理由は、令和2年度に適応指導教室を開設したことにより、相談窓口が増加したためと考えられますが、件数については、統計上それらを合計するなどした上で、比較・評価はできないものでしょうか。近年、子どもたちのまわりの環境の変化は目まぐるしいものになっています。子どもたちが相談し易いよう、窓口の広報活動の見直し、LINE などを使った窓口ルートの追加等、今の子どもたちの環境にあった改善が必要ではないかと感じました。

対象事業	事業の実施状況			評価	自己評価
(1) 各種講座開催事	市民の方に東温市の良さを知って				新型コロナウイルス
業	もらい、ボランティア意識の醸成や高			3	の影響により、例年ど
(決算額:435千円)	齢者が豊かな生活を送るために必要				おりの講座の開催が困
	な知	可識を学習する機会	を提供すると		難な状況であったた
	٤ŧ	に、生きがいづく	りや健康保持を		め、回数や規模の縮小
	図る	ことを目的に各種	講座を実施し		化を余儀なくされまし
	ました。				<i>t</i> =。
	[ボランティア養成講座]				また、実施する際に
	回	開催内容	実施場所		は、感染リスクの高い
	1	清掃活動	県道 193 号線		メニューは回避するな
	2	清掃活動	重信川		ど、様々な感染対策を
	[出	¦前講座〕 ·			講じながらも、各講座
	回	開催内容	実施場所		ごとに工夫しながら開
	1	重信川の水害	拝志小 学 校		催することで有意義な
	2	耕作放棄地の現状	川上教会		学習の機会を設けるこ
	3	ごみ処理と環境問題	堀池公民館		とができました。
	[5	くら講座〕			
	回	開催内容	実施場所		
	1	防災体験	防災センター外		
	2	防犯教室	川内公民館		
	3	パン作り	川内公民館		
	4	フラワーアレンジ	川内公民館		
	〔東	[温カレッジ]			
	回	開催内容	実施場所		
	1	健康講座	中央公民館		
	2	健康体操	川内公民館		
	3	防犯講座	中央公民館		
	4	4 趣味講座 川内公民館			
	〔花いっぱい運動〕				
	開催内容 実施場所				
	花いっぱい運動 中央公民館				
	花いっぱい事業 川内公民館				

(2) 文化活動推進事業

(決算額: 2,066 千円)

東温市文化協会と連携・協力しなが ら文化祭や市民大学を開催すること で、より多くの人に文化・芸術に触れ 合ってもらう機会を提供し、心豊かに 学び合う文化創造のまちづくりを推 進しました。

[文化祭]

~~ ~. — ~	
開催内容	実施場所等
オープニング	
フェスティバル	坊っちゃん劇場
「巧みなギターと織りな	令和3年11月16日
すフラメンコの世界」	
川内会場	川内公民館
作品展示及び音楽芸能	令和3年12月3日
発表	から5日
重信会場	中央公民館
作品展示及び音楽芸能	令和3年12月10日か
発表	ら12日

〔市民大学〕

開催内容	実施場所等
講演 「笑いのチカラ」 講師 枝廣篤昌	坊っちゃん劇場 令和4年3月19日

新型コロナウイルス の影響もあり、開催時 期の延期や規模の縮小 化を図りながら文化祭 や市民大学を開催する ことができました。

市民の豊かな心づくりと地域文化の振興を図るとともに、多種多様な学習成果の発表の場を提供するためには、コロナ禍における文化活動の新たな手法が求められています。

- (1) コロナ渦の中での規模縮小や感染リスクの高いメニューの回避を実施したとありますが、 それでもこれだけの開催が出来たことは、評価できます。ただ、評価という点においては、 開催の有無だけではなく、その内容や参加者の意見などを収集・評価し、次につなげるよ うな改善を行っていくということが必要ではないかと感じました。
- (2) コロナ渦の中でも文化祭、及び、市民大学が開催できたことは良かったと思います。また、文化・芸術の象徴とも言える「坊っちゃん劇場」を活用されていることも良い点だと感じました。その他、作品の展示など取り組まれていますが、展示以外の発表の場の提供の取り組みを、具体的に検討されてはどうかを感じました。リモート参加型による発表会、成果発表の動画をユーチューブに公開する等、コロナ渦の中だからこそできる新しい方法を模索されてはどうかと思いました。

舌	占	施策	12
里	믔	加束	13

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 研修会等の開催	① 人権講座		新型コロナウイルス
実施	新型コロナウイルスの感染拡大に	3	感染症の影響により中
(決算額: 1,571 千円	伴う社会教育施設の臨時閉館により		止となった講座もあり
内、人権教育協議会補助	中止とせざるを得ませんでした。		ましたが、様々な人権
金 1,554千円)	② 人権を語る集い		問題が生じている現状
	市民等並びに関係機関・各種団体の		の中で、テーマを絞り
	参加のもと、中央公民館において市内		込みながら、研修会等
	児童・生徒による人権啓発作品ロビー		を実施しました。
	展を実施しました。		研修会では、実際に
	・令和3年12月5日(日)		差別の現実を学習する
	• 演題		ことで、参加者の理解
	「ハンセン病家族の戦い		も深めることができま
	~奪われた家族を取り戻す~」		した。
	・講師 黄 光男		感染症拡大防止策の
	· 参加者数 118 人		ため参加人数を抑えな
	③ 人権ゼミナール		がらの開催となりまし
	年間2回の開催を予定し、第1回を		たが、今後も、様々な
	川内公民館で開催しましたが、第2回		人権問題の解決に向け
	は新型コロナウイルスの感染拡大に		た研修会を実施するこ
	伴う社会教育施設の臨時閉館により		とで、人権尊重のまち
	中止としました。		づくりをより一層、推
	〔第1回〕		進します。
	• 令和 3 年 6 月 18 日 (金)		
	演題「すべては光る」		
	・講師 木城 香代		
	· 参加者数 46 人		
 (2) 人権啓発活動の	 同和問題に対する人権意識の啓発		
)	を図るため、「同和問題と人権」をテ	3	めには、新たなテーマ
) J. 	ーマとしたリーフレットを4,000部	5	を模索しながら、幅広
	作成しました。		い広報啓発活動を根気
	リーフレットは、同和問題を理解		強く継続することが不
	し、より高い人権意識を持ってもらえ		可欠です。
	るよう、市内小中学校の児童生徒及び		ー 企業訪問では、実際
	各種団体、施設等に広く配布しまし		に現場に出向くこと

た。

また、事業所等における人権・同和 教育の推進のため、人権擁護委員と連 携して市内7企業への訪問を実施し ました。 で、職場内の人権問題 や企業の社会的責任等 についてより具体的な 意見交換を行いまし た。

今後も粘り強く市民 並びに市内事業者等へ の人権啓発活動に取り 組みます。

【学識経験者意見】

(1) 私たちが生活していく中で、人権問題は重要で、かつ、大きな課題と考えます。コロナ渦による施設の閉館で人権講座が中止となってしまったことは、非常に残念です。今後は、リモートによる開催など、コロナ渦の中でも実施できる形を模索し、是非何らの形で実施して頂ければと思います。

また、最近ではジェンダーに関する問題も取り出されており、日本では世界と比べて非常 に遅れていると思います。これらの議題にも取り組んでみてはどうかと思いました。

(2) 同和問題についても、非常に重要な人権問題と考えます。そのため、リーフレットの作成 や企業訪問は重要な事業であると思います。「寝た子を起こすな」という意見を耳にする事 がありますが、これは誤りだと思います。こういった考えに対し周知・理解を広げる意味で も、継続して取り組んでいただきたいと思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 市立図書館資料	来館者数 72,631 人の内、貸出者数	н і іш	利用者ニーズの高い
の充実とサービ	は48,532人で96人減少し、貸出冊数	2	ベストセラーや新刊図
スの向上	は144,677冊で2,803冊減少となりま	_	書を定期的に購入する
(決算額: 8,668 千円)	した。新型コロナウイルス感染症の影		とともに、近隣図書館
(NOSTER : 0, 000 11 1)	響で前年度に比べ微減となったもの		からの資料借受などに
	の、ほぼ前年並みの水準で推移しまし		よって、利用者への資
	た。		料提供サービスの向上
	7-0		を図りましたが、新型
	年 度 貸出者数 貸出冊数		ことのようなこれ、 初至 コロナウイルス感染症
			の影響による2回の臨
	令和2年度 48,628人 147,480冊		時休館の影響で、貸出
	令和3年度 48,532人 144,677冊		古数・貸出冊数は、伸
	17410402 45, 6022 144, 677111		石数・貞山 数は、仲 び悩んでいます。
	 学校図書館との連携では、貸出券の		今後は、貸出者数・
	共同利用実施のため、新入生や転入生		フ俊は、貝山有数・ 貸出冊数の増加を図る
	を対象に新規作成したほか、移動図書		ため、自分の読書履歴
	館車の配車を行いました。		
	出手の比手を打いるした。 また、市内小中学校に図書館支援員		を見返すことのできる
	を 1 校当たり年間 3 回派遣し、学校図		読書記録帳サービスを
	書館の整備支援や授業・委員会活動支		導入することにより、
	青郎の空哺又族で技术・安貞云冶勁又 援などを行いました。		市民の読書意欲の向上
			と図書館の利用促進に
	中予圏域での図書館業務連携にお		努めます。
	いては、平成29年の連携開始以降、		
	1,218人の広域利用者に対し、貸出券		
	を発行しました。 		
(の) 投制団事約する	まれて 笠毛のフェーション / sto		ピカッウンナン畑コー
(2)移動図書館車の	市内 75 箇所のステーション(一般 地区 65 笠町、小党技・44番目 10 笠町)		屋外の身近な場所で
活用 (決策額 51 4 円)	地区 65 箇所、小学校・幼稚園 10 箇所)	4	図書館サービスが受け
(決算額: 51 千円)	を月2回巡回し、図書の貸出等を行い		られ、新型コロナウイ
	ました。		ルス感染予防策として
	新型コロナウイルス感染拡大防止		3 密の回避が期待でき
	のため、一定の期間、運行を休止した		ることなどの理由か
	影響から、年間巡回日数は245日で41		ら、移動図書館車への
	日あまり減少しています。		利用者ニーズは、今後

また、貸出者数は3,716人で、215 人減少し、貸出冊数も11,611冊と922 冊減少しましたが、これも新型コロナ による臨時運休が影響したものと思 われます。

年 度	貸出者数	貸出冊数
令和	4, 473 人	13, 428 m
元年度	一日平均 16 人	一日平均 47 冊
令和	3, 931 人	12, 533 m
2年度	一日平均 15 人	一日平均 49 冊
令和	3, 716 人	11, 611 m
3年度	一日平均 15 人	一日平均 47 冊

も増加傾向にあると分析しています。

ただし、車載できる 資料数に制限があるため、よりニーズに沿った図書の積み替え等を 行うなどのきめ細やかな工夫も必要です。

今後もコロナ禍における移動図書館車の利点を生かしながら、外出が困難な高齢者や障がい者へのバリアフリー・サービスの提供に努めます。

- (1) 新型コロナウイルスの影響による休館については、やむを得ないと思いますが、コロナだからこそ、読書というニーズは、以前よりも高まっているのではないかと思います。対面でなくとも、書籍を借りることができるようにする仕組み作りや、電子書籍への取組を行ってはどうかと思いました。
- (2) 移動図書館については、コロナ対策として有効だと思います。また、今後、高齢者化社会となっていく中でも、移動図書館のニーズはますます増えていくと思われます。今後もサービス向上に向け、取組をお願いしたいと思います。

対象事業	事業の実施状況			自己評価
(1) 学校・家庭・地	次代を担う青少	少年の豊かな心と生		わんぱく広場と放課
域連携推進事業	きる力を育み、心身ともに逞しい人間			後わくわく教室は、共
(決算額: 1,341 千円)	として成長してい	いくことができるよ		に新型コロナウイルス
※含む(2)事業	う、体験学習を中	心としたわんぱく広		感染症の影響で回数を
	場及び放課後わく	くわく教室や地域学		減らしての開催となり
	校協働活動を実施	拖しました。		ましたが、コロナ禍に
				おいても学校や世代の
	〔重信・川内わん	<u> </u>		枠を超えた交流を通し
	回開催内容	実施場所		て、多様な体験学習が
	1 重信開講式	中央公民館		できる貴重な機会を提
	2 川内開講式	川内公民館		供しました。
	3 重信サイエンス・	ショー 総合科学博物館		また、県の補助事業
	4 川内サイエンス・	ショー 総合科学博物館		である「子ども体験活
	5 合同 SDGs ゲーム	中央公民館		動緊急確保事業」と
	6 重信国際交流教	室 中央公民館		「ICT 等環境緊急整備
	7 川内国際交流教	室 川内公民館		事業」を活用し、コロ
	8 重信郷土料理講	中央公民館		ナ禍における子どもの
	9 川内郷土料理講	座 川内公民館		居場所づくりや各種事
				業にリモートを導入す
	〔放課後わくわく	〈教室〕		るための機器を整備し
	開催内容	実施場所		ました。
	ペットボトル・ロケッ	北吉井小 8回実施		地域学校協働活動
	ト、けん玉、工作 等	川上小 9回実施		は、令和3年度から市
		·		内の中学校でも始ま
	〔子ども体験活動	勋緊急確保事業 〕		り、全ての小中学校で
	開催内容	実施場所		実施されています。 今後は、地域と学校
	ぷらっと HOME 横河原ぷらっと HOME			
	子ども広場 3 回実施			の連携強化に努めなが ら、子どもたちの健全
				う、子ともたらの健主 育成を全面的に支援し
	〔ICT 等環境緊急整備事業〕			「日成を主面的に又接し ていきます。
	内容			(CO.C & 7 °
	各放課後わくわく教室	宮に導入するタブレット、プ		
	ロジェクター等を購入	(

[地域学校協働活動]

幅広い地域住民等の参画を得なが ら地域全体で子どもたちの学びや成 長を支えるとともに、学校を核とした 地域づくりを目指すための活動で、令 和3年度からは市内の全小中学校に おいて、見守り活動や学校における環 境整備、交流体験など、多種多様な協 働活動を展開しています。

(2) 地域が持つ人 的資源の活用

令和2年度から運用開始となった 協働活動サポーター制度ですが、令和3年度末時点で52人の登録となり、 わんぱく広場や放課後わくわく教室、 地域学校協働活動などの様々な事業 への参画を図りながら、地域と学校が 一体となって子どもたちの学びや成 長を支えました。 ボランティア活動に 4 意欲と関心がある方か らの応募により制度を 運用しています。

> コロナ禍においても 15名の方の新規登録が あり、各種活動に参画 してもらいました。

引き続き、地域が持つ人的資源を発掘しながら、登録者数の増加を図るべく制度の周知啓発に努めます。

- (1) わんぱく広場については、多くの児童が学校の垣根を越えて参加しており、他校との交流も含め、児童にとって非常に有意義な活動の場所になっていると思います。また、内容も充実しており、毎年抽選になる等、児童にとっても人気が高い事業になっていると思います。現状で満足することなく、更なる事業の拡大を望みます。抽選になるということは、外れて参加できない児童もいますので、参加可能児童の拡充も今後の課題と言えると思います。
- (2) 人的資源の活用ということで、協働活動サポーターの新規登録者が増えていることは非常に良いことだと思います。協働活動サポーターの人的資源の多様化によって、活動内容の幅も広がると思いますので、今後の更なる飛躍に期待します。

ᆂ	_	施策	- 1	^
#	_	10th ===		h
ᆂ	==	יאי יוווו		w

対象事業	事業	の実施状況	評価	自己評価
(1) 歴史·民俗資料	新型コロナウイルス感染症の拡大			新型コロナウイルス
の調査、収集、保	防止による臨時	休館措置のため開館	3	感染症の拡大防止によ
存、展示等の充実	日数は減少しま	したが、本館の入館者		る臨時休館措置を実施
(決算額: 925 千円)	数は1,374人と	、前年度とほぼ同様を		したことから、開館日
	維持した半面、	収蔵庫の入館者数は、		数が減少したことに合
	減少傾向になっ	ています。		わせ、団体利用者の制
				限を行いましたが、本
	年 度	入館者数		館は前年度とほぼ同様
		本館 1,376人		の入館者を確保するこ
		開館日数 240 日		とができました。一方
	△和○左曲	1日平均 5.7人		で収蔵庫の入館者は減
	│ 令和2年度	収蔵庫 181 人		少傾向が顕著であるこ
		開館日数 51日		とから、積極的に施設
		1日平均 3.5人		のPR等を行うなど、
		本館 1,374人		あらためて市民への周
		開館日数 219日		知を図る必要があると
	↑ 100 € €	1日平均 6.3人		感じました。
	令和3年度 	収蔵庫 140 人		今後は、来館者数の
		開館日数 46 日		回復を見込み、地域に
		1日平均 3.0人		沿ったテーマによる企
		±1		画展示を行うほか、収
	常時、歴史民任	谷資料の収集に努めて		蔵庫での講座数の拡
	おり、現在の収減	蔵資料数は、約 15,500		大、デジタルアーカイ
	点(文書約10,0	00 点、民具等約 5,500		ブの利用促進等によ
	点) となってい	ます。		り、子どもから大人ま
	本館における	展示では、常設展示、		で幅広い年齢層に愛さ
	企画展示(年3	回)、ロビ一展示(年		れる資料館づくりを目
	4回)を開催しる	ました。		指します。
	〔常設展示〕			
	「東温市の歴	史」		
	近世部門の	リニューアル実施		
	展示資料の	追加等を実施		
	〔企画展示〕			
	①「昭和の道	具とイマ・ムカシ」		

	②「進化する農具」		
	③「QOLと民具」		
	〔ロビ一展示〕		
	①「天神信仰と地域」		
	②「豪農の調度品小山家の漆器 I		
	蒟醬 (きんま) • 琉球 • 唐物 (からもの)		
	③「豪農の調度品小山家の漆器Ⅱ		
	茶道具と漆器」		
	④「豪農の調度品小山家の漆器Ⅲ		
	漆器の中に収めたもの」		
(2) 文化財・埋蔵文	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵		今後も周知の埋蔵文
化財の調査	地において埋蔵文化財の試掘・確認調	3	化財包蔵地での調査結
(決算額: 522 千円)	査を2件(民間2件、公共0件)行い		果に伴う適切な見直し
	ました。		を継続しながら、ホー
			ムページ等で周知啓発
			に努め、遺跡内での無
			断開発防止に取り組ん
			でいきます。

- (1) 本館への入館者数が増加していることは、本事業への取組の結果であり、評価できる内容だと思います。東温市の歴史や文化について、触れることができる重要な事業ですので、継続した取組を行っていただきたいと思います。収蔵庫への入館者数が減少している点については、本館の入館者数が減っていないことから、認知度の部分に課題があるのではと思われます。周知・PR の方法について、改善が必要なのではと感じました。
- (2) 埋蔵文化財包蔵地の調査については、貴重な文化財産となりますので、それらの調査及び保護について、継続して取り組んでいただききたいと思います。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業の実施状況					カコ 転体
対象事業	カニエリー -			- 一 早く組収	評価	自己評価
(1) スポーツ施設の	新型コロナウイルス感染症の影響 で、2度の臨時休館となり、前年度よ					新型コロナウイルス
利活用の促進					3	感染拡大防止策に伴う
(決算額: 46,222 千円)	り 22 日間					利用休止や利用制限に
	ず、利用を					よって、コロナ禍以前
	134, 835 人		ブ年比で 1,	197 人増		と比較して利用者数は
	加しまし#	:				減少していますが、各
						種大会が徐々に再開さ
	〔体育施詞	殳(指定 管	管理者分))		れたことで、前年度よ
		令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		り利用者数が増加した
	ツイン	72, 388	53, 368	50, 864		と分析しています。
	ドーム	72, 300 人	55, 566 人	人		今後もコロナの感染
	重信	31, 898	25, 227	25, 413		状況を注視しながら、
	総合 公園	人	25, 22 <i>1</i> 人	人 人		各種ガイドライン等に
		29, 939	20, 807	34, 668		よる感染対策の徹底と
	レーニング	29, 939 人	20, 607 人	人		スポーツ施設の利活用
	センター					促進の両立を目指して
	体育	47, 488 人	34, 236 人	23, 890 人		 取り組みます。
	センター	181, 713	133, 638	134, 835		
	合 計	人	人	人		
(2) 愛媛プロスポー	新型コロ	コナウイノ	レス感染症	の影響		コロナ禍においても
ツ応援事業の推進	で、例年の	ような応	援事業を	実施する	3	様々な形でプロスポー
(決算額: 244 千円)	ことはでき	きませんで	でしたが、	オンライ		 ツ団体を市民が支援す
	 ンでの観戦	战推奨等、	各団体と	の連携を		るとともに、スポーツ
	深めながら	ら、コロナ	一禍での新	たな手法		 を通した選手と子ども
						たちの交流を深めるこ
	によるチーム応援の機運醸成を図り ました。					とで、今後においても
	また、競技の楽しさや素晴らしさを					愛媛県のプロスポーツ
	子どもたちに直接伝えるため、愛媛					の振興と市民のスポー
	FCの応援選手との交流会や愛媛オレ					ツ意識の向上を図りま
	ンジバイキングスによる学校訪問を					プ思戦の円工を囚りよ
	実施しました。					7 o
	天 心しよし	√1 _0				

〔愛媛 FC ホームゲーム・マッチシティ

「東温市の日」〕

• 来場者数: 1,827 人

〔愛媛 FC ホームゲーム・マッチエリア

「松山広域の日」〕

• 来場者数: 1,289 人

〔愛媛 MP・ホームゲーム

「中予広域の日」〕

観客動員数:746 人

[愛媛 FC・応援選手との交流会]

・参加者数:40人 〔愛媛 OV・学校訪問〕

• 拝志小学校児童:36人

· 上林小学校児童: 25 人

【学識経験者意見】

(1) 多様性が重視される近年の生活の中で、スポーツ施設の利用は重要な役割を果たしていると思います。人々の生活の中で、スポーツは健康への取組やコミュニティ作りなど、多くの人になくてはならないものになっています。コロナ渦の中で、制限を受けての利用にはなりますが、ガイドラインに遵守した運用をしていただきたいと思います。

また、施設(場所)の提供だけではなく、道具の貸出も行っていると思います。ニュースポーツの用具の調達、貸出、広報等にも力を入れられてはどうかと感じました。

(2)子どもたちのプロスポーツ選手との交流は、子どもたちにとって非常に大きな刺激となり、 効果の高い事業だと思います。子どもたちの中にある、いろいろな可能性のひとつを引き出 すきっかけとなるかもしれません。

また、プロスポーツ選手との交流は、プロスポーツ団体の認知度にも貢献することになると思います。プロスポーツの試合を生で観戦する等、市民がプロスポーツをもっと身近に感じることができるきっかけになれば良いと感じました。

教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

〇 委員等の就任状況

役 職	氏 名	摘要
教育長	八木良	R 3. 4. 1 任命
委 員(教育長職務代理者)	本田 隆彦	R 3.11.26 再任
委員	水岡明美	R 1.11.26 再任
委 員	清家隆夫	H30. 11. 26 任命
委 員	大西 正志	R 2.11.26 任命

2 教育委員会の会議等開催状況

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

区分	開催日	開催場所	協議事項	
定例	4月27日(火)	東温市役所	(議案)	
	9:00~10:40		東温市教育委員会公印規程の一部改正について	
			東温市教育委員会後援等取扱要綱の一部改正について	
			令和3年度東温市教育支援委員会委員の委嘱について	
			令和3年度東温市教育相談員の委嘱について	
			令和3年度東温市通級指導教室通級判定委員会委員の	
			委嘱について	
			令和3年度東温市特別支援連携協議会委員の委嘱につ	
			いて	
			令和3年度東温市特別支援巡回相談員の委嘱について	
			令和3年度東温市結核対策委員会委員に委嘱について	
			令和3年度東温市学校運営協議会委員の任命について	
			東温市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委	
			嘱について	
			東温市スポーツ推進委員の委嘱について	
			東温市立図書館運営選書会委員の委嘱について	
			東温市立図書館協議会委員の委嘱について	
			第4次とうおん子ども読書推進計画策定委員会委員の	
			委嘱について	
			東温市立歴史民俗資料館協議会委員の委嘱について	

			令和3年度東温市学校給食センター運営委員の委嘱に		
			ついて		
			(その他報告)		
			教育委員会共催・後援事業について		
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について		
			いじめ・不登校の状況について		
定例	5月25日(火)	東温市役所	(議案)		
	9:00~10:10		東温市青少年問題等協議会委員の委嘱について		
			東温市青少年補導委員の委嘱について		
			東温市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委		
			嘱について		
			第4次とうおん子ども読書活動推進計画策定委員会委		
			員の委嘱について		
			(その他報告)		
			教育委員会共催・後援事業について		
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について		
			いじめ・不登校の状況について		
定例	6月29日(火)	東温市役所	(議案)		
	9:00~10:20		東温市学校・家庭・地域連携運営委員会委員の委嘱又		
			は任命について		
			東温市青少年補導委員の委嘱について		
			(その他報告)		
			教育委員会共催・後援事業について		
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について		
			いじめ・不登校の状況について		
定例	7月27日(火)	東温市役所	(議案)		
	9:00~10:00		令和3年度東温市学校給食等食物アレルギー対策検討		
			委員会委員の委嘱について		
			東温市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委		
			嘱について		
			東温市学校・家庭・地域連携運営委員会委員の委嘱又		
			は任命について		
			(その他報告)		
			教育委員会共催・後援事業について		
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について		
			いじめ・不登校の状況について		

定例	8月24日(火)	東温市役所	(議案)	
, , , ,	9:00~11:00		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			理及び執行の状況の点検及び評価について	
			令和3年度東温市学校運営協議会委員の解任について	
			(その他報告)	
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について	
			教育委員会共催・後援事業について	
			いじめ・不登校の状況について	
定例	9月29日(水)	東温市役所	(議案)	
, , , ,	13:30~16:00		東温市教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署	
			名の特例に関する規則の制定について	
			東温市教育委員会告示で定める申請書等の押印及び署	
			名の特例に関する告示の制定について	
			東温市教育委員会訓令で定める申請書等の押印及び署	
			名の特例に関する訓令の制定について	
			(報告)	
			東温市子ども基本条例の制定について	
			東温市奨学金運用規則の一部改正について	
			東温市指定文化財及び登録文化財に対する補助金交付	
			要綱の一部改正について	
			東温市文化財保存顕彰事業費補助金交付要綱の一部改	
			正について	
			 東温市1人1台端末等の使用及び通信機器の貸与に関	
			する要項について	
			全国学力・学習状況調査について	
			北吉井幼稚園の認定こども園移行について	
			(その他報告)	
			教育委員会共催・後援事業について	
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について	
			いじめ・不登校の状況について	
定例	10月26日(火)	東温市役所	(議案)	
	9:00~10:10		東温市教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署	
			名の特例に関する規則の一部改正について	
			(報告)	
			「令和3年度 東温市立児童館運営委員会」の報告に	
			ついて	
			(その他報告)	
			教育委員会共催・後援事業について	

			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			いじめ・不登校の状況について
定例	11月24日(水)		 (その他報告)
, , , ,	9:00~10:00	» (« » (») »	教育委員会共催・後援事業について
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			いじめ・不登校の状況について
定例	12月21日(火)	東温市役所	(報告)
	9:00~10:50		令和4年度東温市立保育所・幼稚園・認定こども園申
			込受付状況について
			学校施設環境改善交付金事業に係る評価の実施につい
			て
			(その他報告)
			教育委員会共催・後援事業について
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			いじめ・不登校の状況について
定例	1月25日(火)	東温市役所	(報告)
	9:00~11:00		「東温市立幼稚園設置条例」の一部改正について
			「東温市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業
			の運営に関する基準を定める条例」の一部改正について
			「東温市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基
			準を定める条例」の一部改正について
			「東温市立認定こども園条例」の制定について
			令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
			について
			東温市いじめ防止等のための基本方針について
			卒業式、入学式等出席予定表について
			東温市学校評価報告会の開催について
			(その他報告)
			教育委員会共催・後援事業について
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			いじめ・不登校の状況について
定例	2月22日(火)	東温市役所	(議案)
	9:00~11:15		東温市学校事務の共同実施組織及び運営に関する規則
			の一部改正について
			学校給食にかかる保護者から徴収する金額について
			(報 告)
L	I		

	<u> </u>		
			令和4年度東温市教育基本方針における重点施策につ
			いて
			東温市いじめ防止等のための基本方針について
			(その他報告)
			教育委員会共催・後援事業について
			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			いじめ・不登校の状況について
臨時	3月11日(金)	東温市役所	(議案)
	11:00~11:45		令和3年度末教職員人事異動案件について
			専門的教職員の派遣に関する同意及び派遣に関する協
			定の締結について
定例	3月23日(水)	東温市役所	(議案)
	14:00~16:20		令和4年度東温市教育基本方針並びに重点施策の策定
			について
			東温市いじめ防止等のための基本方針の一部改正につ
			いて
			第4次とうおん子ども読書活動推進計画の策定につい
			て
			東温市立認定こども園条例の施行に伴う関係教育委員
			会規則の整理に関する規則の制定について
			東温市立幼稚園規則の一部改正について
			東温市立認定こども園条例の施行に伴う関係教育委員
			会告示の整理に関する告示の制定について
			東温市立認定こども園条例の施行に伴う関係教育委員
			会訓令の整理に関する訓令の制定について
			東温市内名勝調査委員会設置要綱の制定について
			令和4年度東温市教育員会職員の人事異動について
			令和4年度東温市スクールガードリーダーの委嘱につ
			いて
			令和4年度東温市特別支援教育アドバイザーの委嘱に
			ついて
			令和4年度東温市特別支援巡回相談員の委嘱について
			令和4年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師、産業医
			の委嘱について
			東温市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委
			嘱について
			東温市スポーツ推進委員の委嘱について
			東温市文化財保護審議会委員の委嘱について
			東温市立認定こども園条例の施行に伴う関係教育委員会告示の整理に関する告示の制定について 東温市立認定こども園条例の施行に伴う関係教育委員会訓令の整理に関する訓令の制定について 東温市内名勝調査委員会設置要綱の制定について 令和4年度東温市教育員会職員の人事異動について 令和4年度東温市スクールガードリーダーの委嘱について 令和4年度東温市特別支援教育アドバイザーの委嘱について 令和4年度東温市特別支援巡回相談員の委嘱について 令和4年度東温市特別支援巡回相談員の委嘱について 令和4年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師、産業医の委嘱について 東温市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委嘱について 東温市スポーツ推進委員の委嘱について

	(報告)
	令和4年度教育委員会の主な事業について
	東温市修学旅行の中止に伴うキャンセル料等補助金交
	付要綱の一部改正について
	令和4年度上林保育所の休所について
	令和3年度通学路安全対策対応状況について
	(その他報告)
	要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	教育委員会共催・後援事業について
	いじめ・不登校の状況について

3 その他の活動

- 1. 研究会等
- 〇 学校評価報告会
- 2. 学校等行事への出席
- O 小·中学校入学式
- O 小・中学校卒業式
- 〇 教職員着任式、離任式
- 小·中学校健全育成協議会
- 3. 社会教育行事への出席
- 〇 人権講座
- 人権ゼミナール
- 4. 学校給食センター行事への出席
- ふれあいスクールランチコンテスト'21 IN 東温
- 5. 学校等視察訪問
- 〇 中予教育事務所管理主事訪問に同行